

ご近所のお医者さん

455

畑内科クリニック院長 畑直成さん 一大阪市住吉区

かかりつけ医

健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれるような、身近にいて頼りになる医師が「かかりつけ医」である、と日本医師会は定義しています。一つ

の医療機

関で何も

かも解決

できれば

良いのですが、歳を重ね病気が増える
と、専門の医療機関にかかる機会や頻
度も増えます。そうなれば、医療機関
同士の調整と連携が必要になります。
他の医療機関で行った検査の結果や処



生涯の見守り役見つけて

方薬、治療方針を、新たに受診した医
療機関の医師に正確に伝えることは、
若い人でもなかなか難しいことです。
その上、現在は少子化、高齢化、核家
族化が進み、働く女性も増えています

複数の薬同士の相互作用にも注意が必要
です。後で診察にあたる医師は、身
体全体を把握した上で検査や治療をし
なければ、思いがけない結果を招きか
ねません。
介護現場ではケアマネジャーが全体
を把握し、利用サービスの重複などを
調整します。一方、医療の場合は、か
かりつけ医が他の医療機関の状況を把

握し、必
要に応じ
て紹介で
きるよう
に備えておくことが重要な意味を持ち
ます。そして、患者さん自身もまた、
日ごろから何でも相談できる、かかり
つけ医を見つけておくことが大切に
す。今後も一人暮らしの増加が予想さ
れ、かかりつけ医の役割がより一層重
要になります。将来たとえ通院できな
くなっても、在宅療養や看取りへと生
涯の水先案内人となり、いつも見守っ
てくれるかかりつけ医をぜひ持ちまし
よう。

例えば、高度慢性腎不全の患者さん
が背中に痛みを感じ、かかりつけ医以
外の医療機関を受診したとします。医
師は知らずに腎臓に負担のある痛み止
めの薬を処方するかもしれません。既
に処方されている同じ薬を処方し、倍
量服用になる危険性もあります。また、